

# 袖師村松線道路改良工事について

地区名	静岡地区
会社名	三建工業株式会社
執筆者・現場代理人	塚本 耕平
技術者番号	00272253

## 工事概要

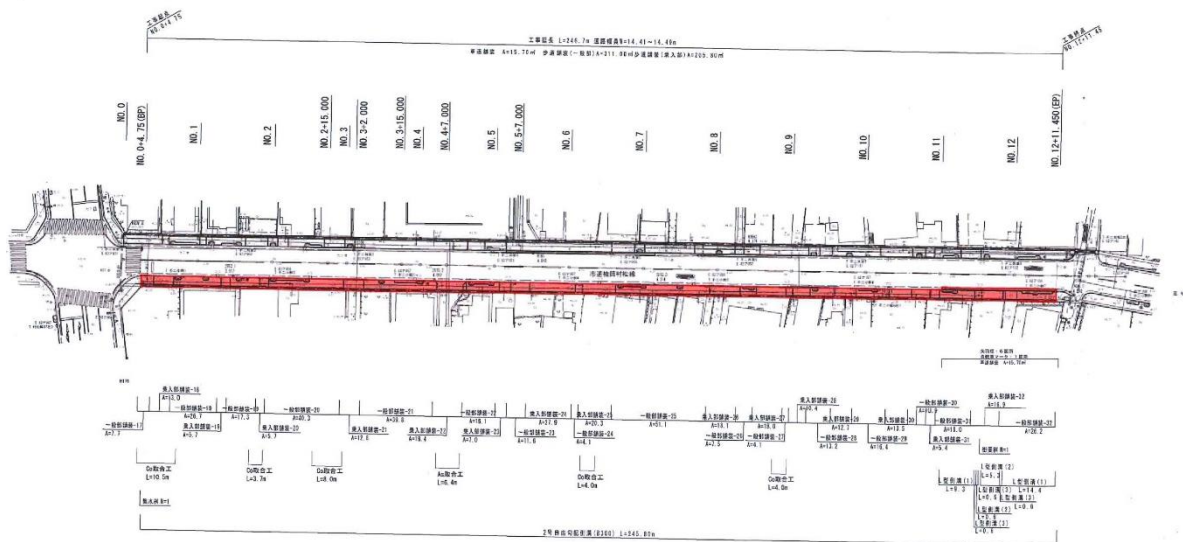
工事名	令和2年度清市道債第2号 袖師村松線道路改良工事
発注者	静岡市長
担当機関	静岡市 建設局 道路部 清水道路整備課 工事第2係
施工箇所	静岡市 清水区 村松一丁目 地内
工期	令和3年3月9日 ~ 令和3年8月27日
工事概要	工事延長 246m 道路幅員 14.41~14.49m 排水構造物工 274m 舗装工 513m <sup>2</sup>

## 1.はじめに

本工事は静岡市清水区において、延長246mにわたり既設水路を取壊して側溝を設置する工事であり、交通安全の確保を目的とした事業である。また、既設道路は、小・中学校の通学路に指定されており、歩行者・自転車・車両等 交通量の多い道路である。ここでは、本工事における問題点及びそれに対して行った対応策について記載する。

平 面 図 S=1:500 (1:1,000)

静岡市清水区村松一丁目地内



## 1. 現場における問題点

### 施工中の一般車両の通行について

本工事施工範囲において施工にあたり道路を片側交互通行とし規制をした上での作業となった。20m程度ごとに既設構造物の取壊し作業、掘削、基礎及び側溝設置、埋戻し仮舗装までの施工を行い施工エリアを区切った作業となるが、エリア毎に枝道が複数存在し、施工にあたって既設水路取壊し及び掘削作業となる為、一時通行を制限する必要があった。しかし施工範囲内にあった枝道は全て袋小路となっていたため、通行禁止にした場合枝道内の車両が完全に出入することができなくなる。

道路幅が比較的広い枝道の場合は施工を上流側、下流側と分けて施工することにより通行しづらくはなるものの支障なく車両の行き来が可能だが、道路幅が狭く、上下流で分けて施工しても車両の行き来が出来なくなってしまう場合は車両の通行を制限して施工する必要がある。一般車両が進入してきた場合、当該箇所に鉄板をかけることは可能だが施工中の作業を取りやめてから鉄板を敷く必要があるため時間にロスが生じ、その分地域住民を待たせることになってしまう。周辺には仮駐車場として使える土地が乏しいこともあり別の場所に一般車両を移動することもできないため施工中の車両の通行について考える必要があった。

また、施工箇所に数か所商業施設があり日中に資材の搬入があることから施工のタイミング及び時間についても対策が必要になった。

そして、施工箇所の下流側においてコンビニがあり、時間を問わず車両の出入りが発生し片側交互通行による規制に追加しての配慮が必要となった。

## 2. 課題に対して行った対策

施工にあたり「工事のお知らせ」を施工地域の自治体に対して配布したが、各工区の影響範囲内の住民、枝道の住民に対しては施工タイミングの1週間程度前から直接お知らせに伺い、工事の説明をおこなって該当工区における工事期間中に車両の出入りが制限されることについて周知を図った。また、ある程度外出時間に融通がきく住民が多数いたため、工事のお知らせにて午前、午後の中で決めた15分程度、昼休憩の1時間の間は掘削箇所に鉄板を敷いて車両の出入りが可能な状態にすることとして都度対応することを明記した。そして予定時間外に外出する住民についてはお知らせに伺ったタイミングもしくは直接連絡をってもらう形にして対応した。

商業施設については店舗ごとに定休日があったため、定休日にあわせて取壊し及び掘削をおこない、来店した客が入店可能な状態にしておくことはもちろん、資材搬入についてはある程度決められたタイミングでおこなわれた為、それに工程を合わせて対応した。

コンビニからの車両の出入りについては、施工エリア毎に施設側の規制範囲を狭めた上で交通誘導員を増員して状況に応じた対応が出来る様に手配した。



### 3. 終わりに

本工事は規模が大きいわけではなかったが、作業開始から完了まで工区毎の周辺住民に協力してもらって作業となった。工事を通して、どの工区においても住民との打ち合わせ無しに作業を完了することはできなかったが、苦情等の発生もなく、施工を完了することが出来た。また、商業施設によって発生する車両についても個別に対応したことにより、事故が発生することなく工事を完了することが出来た。このことから関係者の要望や箇所ごとの条件を把握して工事を進めることの大切さを学ぶことができた。今後も各工事で多様な問題が発生することが予想されるが、1つずつ真摯に向き合い、解決し、成長していけるように努力していきたい。